

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 30 日 作成

事務事業名	介護保険利用者特別対策助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり	所属部	健康福祉部	課長名 後藤博康
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加	所属課	高齢者支援課	担当者名 野口政浩
	基本事業	50	高齢者の支援体制の充実	所属班	高齢者保険班	(内線) 2112
				法令根拠	社会福祉法人による低所得者に対する利用者負担の軽減に対する補助金交付要綱	

予算科目	会計 1	款 3	項 1	目 4	事業連番 10498	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果 12	コスト削減優先度評価結果 6
------	------	-----	-----	-----	------------	----------------------------------	-----------------------------------	--------------	----------------

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 12 年度) 期間限定複数年度 (~ 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
低所得者への介護保険利用料負担軽減のための助成

【業務の流れ】
利用者負担軽減申出社会福祉法人の受付と県への申請事務、利用者負担軽減申請の受付、軽減対象者調査事務、軽減対象者決定・不決定通知書送付、社会福祉法人からの補助金交付事務、同決定事務、社会福祉法人への補助金交付事務、県への補助金申請事務、同実績報告事務、同補助金請求事務、同補助金精算事務。

【主な予算費目】 役務費、負担金補助及び交付金(補助金)、償還金利子及び割引料

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	
	低所得者の介護保険利用者負担を軽減した。	
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位)人 ア 軽減を申請した人数 イ 軽減を決定した人数
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	低所得者の介護保険利用者負担額を軽減した社会福祉法人	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)人 ア 介護保険サービスを利用した人数 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	社会福祉法人が低所得者の介護保険利用者負担額を軽減した費用を補助する。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)円 ア 利用者負担を軽減した額 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	高齢者を支援する体制が整い、適切な介護支援を受けられる。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位)% ア 介護サービス利用者の満足度 イ

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載) 0 0 0 0
		都道府県支出金	千円		15	90		90	90	
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		6	32		32	32	
	(A) 事業費計	千円		21	122	0	122	122	122	
	うち指定経費	千円								
	うち時間外、特殊勤務手当	千円								
	人件費									
正規職員従事人数	人		2	1	1	1	1	1		
延べ業務時間	時間		21	21	10	21	21	21		
(B) 人件費計	千円		84	84	40	84	84	84		
トータルコスト(A)+(B)	千円		0	105	206	40	206	206	206	
活動指標	人		3	12	0	12	12	12	目 標 合 計 値 画 22 年 度	
	人		1	10	0	10	10	10		
対象指標	人		1	10	0	10	10	10		
	人									
成果指標	円		44	120	0	120	120	120		
	円									
上位成果指標	%		69.7	80	69.7	80	80	80		
	%									

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
平成12年度介護保険事業制度の開設により、国の補助事業として低所得者の利用者負担減額措置が始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
減額措置から軽減措置となり一律2分の1の軽減から、4分の1へ老人福祉年金受給者は2分の1となった。
また、介護保険制度の改正により軽減できる介護保険利用サービスの種類が増えた。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
議員から低所得者への軽減措置をもっとする必要があるとの意見があった。

事務事業名	介護保険利用者特別対策助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 低所得者の介護保険利用者負担額を軽減した社会福祉法人への補助金交付は、低所得者の介護保険サービスの利用を促すことができる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 低所得者への利用者負担の軽減は税の再配分としては適当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 低所得者の利用者負担額を軽減した社会福祉法人に補助することにより、社会福祉法人が低所得者の介護保険利用者負担額の軽減をすることが社会福祉法人の負担ならなくなる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 対象となる介護保険サービスが増えたことにより、低所得者が介護保険利用者負担額を軽減されり機会が増える。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 低所得者が介護保険利用者負担額を支払うことが困難になる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 他に同様な制度はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 低所得者が介護保険サービスを利用できなくなるので事業費の削減はできない。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 低所得者が介護保険サービスを利用できなくなるので事業費の削減はできない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 低所得者に対し利用者負担を軽減した社会福祉法人への補助金であるため公平公正である。 低所得者への利用者負担軽減は公平公正である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)